

もっと中心部に賑わいを 外町交流広場竣工式

国土交通省のまちづくり交付金事業「角館駅周辺地区 都市再生整備計画」の一環として進めてきた、外町交流広場(西宮家となり)がこのほど完成し竣工式が11月1日に行われました。

この施設は、敷地面積723㎡、総事業費約9千4百万円、交流棟には休憩スペースやトイレ(オストメイト対応有)を兼ね備えており、外観は、景観にも配慮した白と黒の町屋づくりが施され角館らしい建物となっております。また、東側の屋外にはステージを備えたイベント広場が配置されており、イベント等での利用が可能となっております。この交流広場は角館地区商店街のほぼ中心に位置することから、今後、観光客や買い物客の誘客や賑わい創出の場になることを期待したいものです。



秋田藩初期の手紙を読む(古文書解読研究会)

10月21日、仙北市情報センター学習室で、秋田県公文書館嘱託である嵯峨稔雄氏を講師に古文書解読研究会が開催されました。

今回の研究会では、嵯峨講師の解説の下、「秋田藩家蔵文書」などから、秋田藩初期の手紙の解読をしました。参加者は、当事の手紙からうかがえる暮らしぶりや、手紙にしたためた思いに深く感心していました。

なお、秋田県公文書館(秋田市山王新町14-31)特別展示室では、秋田藩士の日記を中心とした古文書の紹介として、企画展「武士の日記を読む」が11月20日まで開催されました。



抱返り紅葉祭でお茶席を開催

10月25、26日の2日間、抱返りあずまや庭園で、玉川遠州流真崎社中(真崎晋敬先生)の皆さんがボランティアでお茶会を開催しました。

県外・海外から観光に来られた方が多く、380名が茶道を体験しました。

参加者からは「おいしいお茶に、身も心も温められました」などの喜びの声が聞かれました。



～あいがけのあいはLOVE～「あいがけ神代カレー」審査員特別賞受賞!

11月1・2日、福岡県久留米市で開催された、第3回B-1グランプリに神代地域活性化推進協議会の「あいがけ神代カレー」が初出場しました。

B-1グランプリは、安くてうまいご当地グルメの祭典で、そのメニューでまちおこしを目指す団体が出場できる大会です。

大会には、北海道から九州まで24団体が出展、来場者が味わった料理の中から気に入った料理を選び、使った箸(はし)で投票し、その重さで順位を競いました。

2日間の来場者は20万人を超え、「あいがけ神代カレー」ブース前にも長だの列ができ、4,000食以上を提供し大好評でした。

表彰では、ベスト3にこそ選ばれませんでした審査員特別賞を受賞し、次回大会への手ごたえを感じていました。来年の大会は、横手市が会場で9月19・20日に開催されます。

